

エコアクション21

環境経営活動レポート



作成年月日 : 2020年10月23日  
対象期間 : 2019年8月～2020年7月

株式会社 スパット北上

1. 環 境 経 営 方 針
2. 事 業 概 要
  - 事業所名及び代表者名・所在地
  - 会社沿革
  - 環境管理責任者及び担当者連絡先
  - 事業の規模
  - 認証登録範囲
  - 実施体制
3. 中 期 環 境 目 標
4. 環 境 経 営 目 標 と 実 績
5. 主 要 な 環 境 経 営 活 動 計 画 の 内 容
6. 環 境 経 営 活 動 の 取 組 結 果 の 評 価
7. 環 境 関 連 法 規 へ の 違 反 、 訴 訟 等 の 有 無
8. 代 表 者 に よ る 全 体 の 評 価 と 見 直 し
9. 事 業 活 動 の 内 容
  - 主要設備
  - 許可の内容
  - 処理実績
  - 処理方法
  - 処理料金
10. 処 理 実 績
11. そ の 他
  - 地域貢献活動
  - 教育・訓練の実施状況
  - 問題点の是正措置・予防処置
  - 緊急事態の想定・訓練・是正の実施状況

## 1. 環境経営方針

私たちは社名に恥じぬよう自然環境と生活環境に対しできる限りの技術と能力を発揮し後世に負担をかけないことを経営の真ん中に置いて行動する。そのための具体的な行動を明確にする。そしてステークホルダー一致団結し取り組む。

①私たちの行動のすべてにSDGsを組み込むこと。

②私たちの役割は廃棄物のリサイクルではなく自然環境と生活環境の3Rであること。言葉だけではなく、行動をもってコンプライアンスを遵守し継続的な改善を続ける。そして明るく元気な経営をし地域を元気づけ、汗を輝かせ続けることで貢献する。

## 行動指針

株式会社スパット北上は全ての事業活動で環境へ与える影響に配慮し、次の方針に基づき環境改善活動を推進します。

1. 建設業及び産業廃棄物処理業において発生する廃棄物の4Rの推進に努め、環境保全に寄与します。  
・Reduce(削減) ・Reuse(再利用) ・Recycle(再資源) ・Refuse(拒絶)
2. 事業活動に使用する「物質」「エネルギー」「水」の投入の削減及び、「CO<sub>2</sub>」「水」排出の削減に努めます。
3. 環境保全の意識向上のため環境教育を実施し、従業員の一人ひとりが地域社会の一員として環境対策に取り組む地域の人々の安全または環境保全に努めます。
4. 事業活動で使用する運搬車両及び建設機械の騒音・振動の抑制に努めるとともに省燃費運転を実施し、排ガスの抑制に努めます。又、工事現場における粉じん発生、汚水流出の防止に努めます。
5. 事業活動の全てにおいて環境に配慮し、グリーン購入を推進し、「物品」及び「建設資材」の調達に努めます。
6. 事業活動の全てにおいて法令を遵守し、国や地方自治体などの環境に関する規制、その他の要求事項を遵守します。
7. エコアクション21のガイドラインに従い事業活動を運用し、維持・改善に努めます。
8. 環境方針は全ての従業員に周知すると共に、取り組み内容は社外の求めに応じて開示します。

令和2年4月1日

株式会社 スパット北上

代表取締役

千葉 智英

## 2. 事業概要

### 事業者名、代表者名及び所在地

- 商号 株式会社 スパット北上
- 代表者名 代表取締役 千葉 智英
- 所在地 まるっとセンターむらさきの(本社・積替え保管施設)：岩手県北上市村崎野14地割63番地3  
まるっとセンターいなせ(中間処理施設・安定型最終処分場)：北上市稲瀬町上台648  
まるっとセンターごとうの(廃ガラス発泡資材製造工場)：北上市和賀町後藤1-670-1  
盛岡営業所：盛岡市永井23-33-9

### 会社沿革

- 設立 昭和38年3月 八重桎組を設立
- 創設 昭和47年3月 (株)八重桎組として創業  
平成17年8月 (株)スパット北上に社名変更
- 資本金 50,000千円

### 管理責任者及び連絡先

- 環境管理責任者 常務取締役 小野 順  
担当者 後藤 茉莉香
- 連絡先 電話 0197-62-3636 FAX 0197-62-3637  
E-mail [sk-honbu.4810@spat-k.net](mailto:sk-honbu.4810@spat-k.net)  
URL <http://www.spat-k.net/>

### 事業規模

事業年度	2017年	2018年	2019年
売上高(百万円)	1,472	1,231	1,242
工事件数(解体工事)	180件	304件	230件
(土木工事)	15件	29件	1件
収集運搬量	22,138t	21,677t	17,683t
中間処理量(稲瀬処分場)	30,459t	28,623t	28,561t
最終処分量(稲瀬処分場)	0t	154t	745t
最終処分量(自社排出分)	1,054t	780t	759t
従業員数	48人	49人	51件
敷地面積	34401㎡	51535㎡	84657㎡

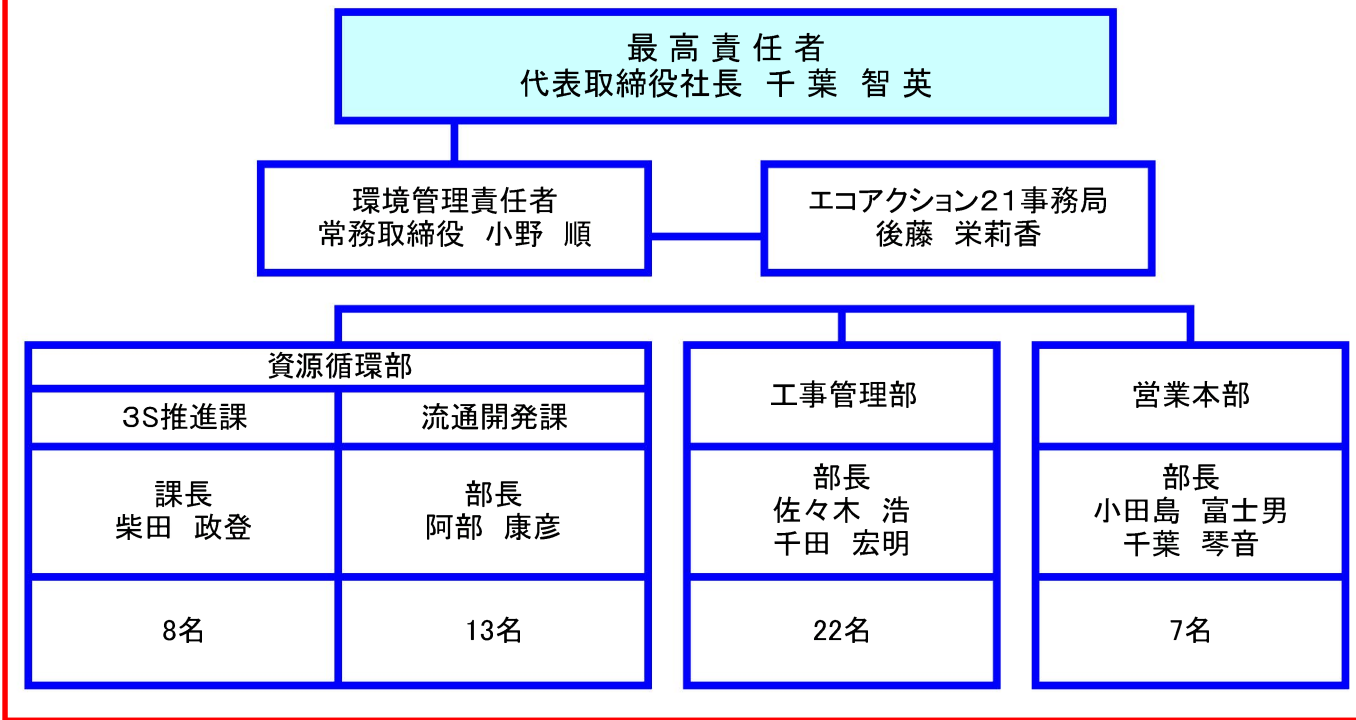
### 事業内容

産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理・最終処分業、  
建設業(土木、とび・土工、舗装、解体)

### 認証登録範囲

株式会社スパット北上全社・全事業活動・全従業員

【 エコアクション認証登録範囲 】



■ 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
最高責任者	代表取締役社長	1.環境管理責任者の任命 2.環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。 3.取組に対する資源を用意する。 4.環境経営方針の策定
環境管理責任者	常務取締役	1.最高責任者に代わってシステムを構築し、運用する。 2.最高責任者に結果を報告する。
EA21事務局	エコスタッフ	1.環境管理責任者に代わってデータの収集を行う 2.各部署へEA21の達成目標を周知する。 3.各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する。 4.必要な教育訓練を計画し、実施する。
部門長	各部長	各部門において、 1.省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 2.必要な教育訓練を計画し実施する。 3.EA21環境経営目標達成を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う。 4.公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
社員		1.部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 2.EA21取組に関する教育訓練を受ける。

### 3. 中期環境経営目標

No.	環境経営目標		基準値(改定) 2017年度	前年度実測値 2018年度	単位	中期目標			
						2018年度	2019年度	2020年度	
①	総エネルギー投入量 の削減	購入電力	31,986.00	37,002.00	kwh	-1.0%	-1.0%	-0.5%	
		化石燃料	灯油	1,272.00	4,793.00	ℓ	-1.0%	-1.0%	-1.0%
			LPG	177.00	36.00	kg			
			A重油 ※1	7,800.00	7,800.00	ℓ			
			軽油	274,175.00	161,564.80	ℓ			
			(車輛)	129,186.40	104,442.60	ℓ			
			ガソリン	1,735.70	1,771.30	ℓ			
		(車輛)	28,796.70	25,495.30	ℓ				
販売電力量	78,840.00	84,289.00	kwh	0.5%	1.0%	1.0%			
②	総物質投入量の削減	コピー用紙	113,958	117,333	枚/年	-1.5%	-1.0%	-1.0%	
③	水資源投入量の削減	地下水	900.0	557.0	m <sup>3</sup>	-1.0%	-0.5%	-0.5%	
④	CO2排出量の削減	CO2排出量	1149873.1	813936.6	kg-CO <sub>2</sub>	-1.0%	-1.0%	-0.5%	
⑤	廃棄物総排出量の削減	オフィスごみ	347.6	974.4	kg	-1.0%	-0.5%	-0.5%	
	建築廃材の リサイクル率の向上	建築廃材	69.9	93.2	%	0.5%	1.0%	1.0%	
⑥	廃棄物最終処分量の削減	最終廃棄物	1054.6	780.4	t	-1.0%	-1.0%	-1.0%	
⑦	排水量の削減	地下水	915.0	557.0	m <sup>3</sup>	-1.0%	-0.5%	-0.5%	
⑧	グリーン購入の推進	品目数	32	37	品目	10品目以上	10品目以上	10品目以上	
⑨	環境保全意識の向上	社員教育 緑化活動	2 1	2 1	回/年	2 1	2 1	2 1	
⑩	地域環境活動	ボランティア活動	12	32	回/年	5回以上	5回以上	5回以上	
⑪	公害及び苦情ゼロの継続	公害・苦情件数	0	0	件/年	0件	0件	0件	

2018年度より、購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

※1 2018年度実績値

#### 4. 環境経営目標と実績

環境経営方針・行動指針を達成するために、下表に示す環境経営目標を立て取組を実施しました。2019年度は下記に示すとおり20項目中16項目が目標を達成し、4項目が未達成となりました。

今年度は、年間の売上が昨年度と比較して横ばいだったため、目標到達項目が多く見られましたが、目標未達となった項目の達成率を見ると著しく達成率が低かったです。電力を多く使用する発泡スチロール減容機と重油を使用するスーパーソル製造工場の稼働率が大幅に増加し、加えて後半はコロナ禍に陥り、常時換気を実施していたため、空調の調整が困難で灯油使用量が大幅に増加してしまいました。発泡スチロールの処理量とスーパーソルの生産受注量が安定してきたため、次年度基準値を改定して、今後も取り組んでいきたいと思っております。

No.	環境経営目標	基準値(改定)	単位	目標値	実績値	達成率 (%)	判定	
		平成29(2017)年度		平成31(2019)年度	平成31(2019)年度			
①	総エネルギー投入量の削減	購入電力	31,986.0	kwh	31,026.4	112,202.0	27.7%	×
		総売上高比	22.4	kw/百万円	25.0	90.3		
	化石燃料	灯油	1,272.0	ℓ	1,233.8	7,497.4	16.5%	×
		総売上高比	0.9	ℓ/百万円	1.0	6.0		
		LPG	177.0	kg	171.7	49.1	349.7%	○
		総売上高比	0.1	kg/百万円	0.14	0.04		
		A重油(※1)	7,800.0	ℓ	7,566.0	32,450.0	23.3%	×
		総売上高比	5.5	ℓ/百万円	6.1	26.1		
		軽油(重機)	274,175.0	ℓ	265,949.8	158,257.7	168.0%	○
		総売上高比	192.1	ℓ/百万円	214.1	127.4		
		軽油(車両)	129,186.4	ℓ	125,310.8	92,257.2	135.8%	○
		総売上高比	90.5	ℓ/百万円	100.9	74.3		
		ガソリン(機械)	1,735.7	ℓ	1,683.6	1,056.3	159.4%	○
		総売上高比	1.2	ℓ/百万円	1.36	0.85		
ガソリン(車両)	28,796.7	ℓ	27,932.8	25,680.2	108.8%	○		
総売上高比	20.2	ℓ/百万円	22.5	20.7				
	販売電力量	78,840.0	kwh	79,234.2	88,943.0	112.3%	○	
②	総物質投入量の削減	コピー用紙	113,958	枚	110,539	99,109	111.5%	○
		総売上高比	79.9	枚/百万円	89.0	79.8		
③	水資源投入量の削減	上水、地下水	900.0	m <sup>3</sup>	886.5	261.0	339.7%	○
		総売上高比	0.6	m <sup>3</sup> /百万円	0.7	0.2		
④	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	事業所全体	1,149,873.1	kg-CO <sub>2</sub>	1,115,376.9	873,512.1	127.7%	○
		総売上高比	805.8	kg/百万円	898.0	703.3		
⑤	廃棄物総排出量の削減	オフィスごみ	347.6	kg	337.2	814.9	41.4%	×
	建築廃材のリサイクル率の向上	建築廃材	69.9	%	74.9	85.6	114.3%	○
⑥	廃棄物最終処分量の削減	最終廃棄物	1054.6	t	1033.5	759.9	136.0%	○
		総売上高比	0.7	t/百万円	0.8	0.6		
⑦	排水量の削減	上水、地下水	915.0	m <sup>3</sup>	901.3	261.0	345.3%	○
		総売上高比	0.6	m <sup>3</sup> /百万円	0.7	0.2		
⑧	グリーン購入の推進	品目数	32	品目	10品目以上	36	100.0%	○
⑨	環境保全意識の向上	社員教育	2	回/年	2	2	100.0%	○
		緑化活動	1		1	1	100.0%	
⑩	地域環境活動	ボランティア活動	12	回/年	5回以上	27	100.0%	○
⑪	公害及び苦情ゼロの継続	公害・苦情件数	0	件/年	0	0	100.0%	○

※○:達成率≥100%、△:100%>達成率≥75%、×:達成率<75%

※中期目標期間中、購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.523kg-CO<sub>2</sub>/kWh使用しています。

※1 2018年度実績値

## 5. 主な環境経営活動計画の内容

㈱スパット北上は建設業と産業廃棄物処理業を主業務としています。物質投入はコピー用紙。水の使用は生活用水・洗車・現場及び場内の散水。エネルギーの使用は、営業車・運搬車の燃料、重機・機械等の燃料、場内照明、事務所内の照明、冷暖房、OA機器の使用です。

No.	環境経営目標	環境経営活動計画
①	総エネルギー投入量の削減	<p>【事業所における取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残業時間の短縮及びノー残業デーの推進</li> <li>・事務所内照明の間引き点灯及び休憩時間の消灯</li> <li>・エアコンフィルターの清掃を定期的に行う。</li> <li>・事務所内の温度管理(夏27℃、冬21℃)</li> <li>・パソコンの省エネモードを活用する。</li> </ul> <p>【場内における取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場内照明の点灯時間の管理の徹底</li> <li>・受入量が少ないときは機械の稼働を停止する</li> </ul>
	購入電力	
	化石燃料	<p>【重機、機械類の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリング運転の禁止</li> <li>・作業量に合った機械の選定(過負荷運転の防止)</li> <li>・省燃費運転の標準化(携帯カード、勉強会の実施)</li> </ul> <p>【運搬車、営業車の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検、整備の実施</li> <li>・急発進、急加速、急ブレーキの禁止</li> <li>・暖気運転は冬場のみ5分とし、その他は暖気運転はしない</li> <li>・ガソリンの削減を目指す(まとめ運送の計画)</li> <li>・不必要な積荷を降ろし、車両を軽くする</li> </ul>
②	総物質投入量の削減	<p>コピー用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷または、縮小コピーの活用やフォーマットの見直し</li> <li>・FAX受信文書のPC管理(必要文書のみ印刷)</li> <li>・社内文書は回覧または、掲示をする。PDF化して共有フォルダを活用する。</li> <li>・会議資料はプロジェクター投影しペーパーレス化する。チャットワークも活用。</li> </ul> <p>建設資材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定がない限り、砕石は再生材を使用する。</li> <li>・指定がない限り、アスファルト合材は再生材を使用する。</li> </ul>
③	水資源投入量の削減	<p>上水、地下水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗い物をするときには水を出しっぱなしにしない</li> <li>・場内の散水は状況に応じてこまめに調整する</li> <li>・洗車手順の標準化</li> <li>・雨水のタンクの新設</li> <li>・洗剤等は環境に負荷の少ないものを使用する。</li> </ul>
④	Co2排出量の削減	<p>二酸化炭素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ①に準ずる</li> <li>・オフィスの緑化を図る</li> </ul>
⑤	廃棄物総排出量の削減	<p>オフィスごみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボール紙類はリサイクル回収する</li> <li>・消耗品は詰替え可能品を購入する</li> <li>・分別、リサイクル可能な事務用品を購入する</li> </ul>
⑥	廃棄物最終処分量の削減	<p>最終廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別を徹底し再資源化を図る</li> <li>・廃棄物の再資源化品目の拡大</li> <li>・プラスチック類の再資源化の推進</li> <li>・ガラスくずの再資源化施設の改良</li> </ul>
⑦	排水量の削減	<p>上水、地下水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ③に準ずる</li> </ul>
⑧	グリーン購入の推進	<p>品目数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品、消耗品は対象商品を出来るだけ購入する</li> </ul>
⑨	環境保全意識の向上	<p>社員教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員教育の実施</li> <li>・法令を遵守した有資格者配置</li> </ul>
⑩	地域環境活動	<p>緑化活動 ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県緑化推進委員会への募金及び、植樹</li> <li>・地域活動への参加</li> <li>・地域・社内環境イベントの開催</li> <li>・担い手育成事業への参加</li> </ul>
⑪	公害及び苦情ゼロの継続	<p>公害・苦情件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民への配慮、作業説明(文書、挨拶廻り)</li> <li>・工事看板設置による情報公開</li> </ul>



## 6. 環境経営活動の取組み結果の評価及び次年度の取組み内容

今期は、エネルギー、オフィスゴミの削減及びCO<sub>2</sub>排出量の削減を目標として各部門毎に取り組みました。全体の取り組みとしては、下記の内容で的確に実施されたと評価します。

No.	環境経営目標	取組結果の評価
①	総エネルギー投入量の削減	<p><b>購入電力</b></p> <p>【事務所における取組】 今年度はスーパーソルの生産受注量と、廃プラスチック類(発泡質)の減容施設の稼働が増加し、大幅に購入電力が増加しました。休み時間の消灯、間引き点灯、室温管理は前年度に引き続き的確に実施できました。猛暑が続く中、温度設定を28℃のままにし、作業効率が低下するのは避けたいため、目標設定を1℃低くし、温湿度計を見ながら臨機応変に対応することとします。コロナ禍もあり、換気を常に行いながらの業務だったため、空調調整が難しかったです。残業は長引かせず早めに帰宅する意識が社員に根付いてきたことが見受けられますが、ノー残業デーの実施は行えませんでした。</p> <p>【場内における取組】 場内照明の点灯時間管理、適正な機械の稼働等、取組は的確に実施されました。 売上比では目標25.0kwh/百万円、実績90.3kwh/百万円で65.3kwh増加となりました。</p> <p><b>化石燃料</b></p> <p>【重機、機械類の取組】 アイドリング運転禁止、適正機械の選定、エコドライブの啓蒙活動等の取組は的確に実施し、目標を達成できました。 灯油は主に暖房用として使用しました。コロナ禍で、常時換気を行いながらの業務だったため、室温の保持が難しく、大幅に増加してしまいました。ガソリンは散水車・発電機等小型機械に使用。 売上比ではLPGは0.1kg削減、灯油は5.0ℓ増加、軽油86.7ℓ削減、ガソリン0.51ℓ削減となりました。</p> <p>【運搬車、営業車の取組】 日常点検、無駄なアイドリングの禁止、エコドライブの実施等、的確に実施され、運搬車両は削減目標を達成することが出来ました。運行スケジュール管理方法が確立し、空荷走行などの無駄な走行を削減したため、燃料消費量削減目標を達成することが出来ました。営業車両に関しては、後半コロナ禍もあり、乗り合い等これまでのように実施出来ませんでした。営業訪問計画を立て、行ったり来たりすることが無いように取り組んでいると見受けられたので、今後も継続していきます。 運搬車は売上比で目標100.9ℓ/百万円、実績74.3ℓ/百万円で26.6ℓ削減となりました。 営業車は売上比で目標22.5ℓ/百万円、実績20.7ℓ/百万円で1.8ℓ削減となりました。</p>
②	総物質投入量の削減	<p><b>コピー用紙</b></p> <p>【コピー用紙の削減】 両面印刷、縮小印刷の活用、FAX受信文書のPC管理、社内文書の削減、ファイルの共有等、的確に実施されました。公共工事の受注や大型工事の受注による工事関連書類印刷、積算物件の図面印刷や研修資料印刷等、多々ありましたが、Web会議を実施するなど、売上比で0.8枚削減出来たのは活動をしっかりと行っていたからだと思います。(古紙での印刷)。 売上比で目標89.0枚/百万円、実績79.8枚/百万円で0.8枚削減となりました。</p> <p>【建設資材】 建設資材は指定がない限り再生材を使用するようにした。再生砕石の利用率は100.0%でした。 アスファルト合材の再生材利用率は100%でした。</p>
③	水資源投入量の削減	<p><b>地下水</b></p> <p>【地下水使用量の削減】 事務所内の節水活動の継続、場内散水量の調整及び時間の短縮等、的確に実施されました。持ち出しの水使用量も減少したため、削減目標が達成出来たと考えます。雨水タンクが破損して使用不可能になったため、新しいものを設置予定。 売上比で目標0.7ℓ/百万円、実績0.2ℓ/百万円で0.5ℓ削減となりました。</p>
④	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<p>※ ①に準ずる 売上比で目標898.0kg-CO<sub>2</sub>/百万円、実績703.3kg-CO<sub>2</sub>/百万円で194.7kg-CO<sub>2</sub>増加となりました。</p>
⑤	廃棄物総排出量の削減	<p><b>オフィスゴミ</b></p> <p>紙類のリサイクル、消耗品の削減、分別・リサイクル可能な事務用品の購入等的確に実施されました。特に金属類・紙類(冊子、ダンボール含む)は、ほぼリサイクルされました。コンビニ弁当を購入する人が増えてきたため、手作り弁当の推奨活動は今後も継続していきます。書庫の整理等行った際に大量にごみが発生してしまったので、一度にやらず、都度整理出来るようにします。 売上比で目標0.3kg/百万円、実績0.7kg/百万円で0.4kg増加となりました。</p>
⑥	廃棄物最終処分量の削減	<p><b>最終廃棄物</b></p> <p>【最終処分率の削減】 廃棄物の分別の徹底、作業員教育は的確に実施されました。遠方現場の廃棄物でも、帰り荷を積んで自社のリサイクル施設に搬入したりするなど、遠方だと最終処分品目になるものも工夫してリサイクルに回した。これまでと同様、廃棄物は再資源化を原則とし、分別を徹底します。 売上比で目標0.8t/百万円、実績0.6t/百万円で0.2t削減となりました。</p>
⑦	排水量の削減	<p>※ ③に準ずる 売上比で目標0.7m<sup>3</sup>/百万円、実績0.2m<sup>3</sup>/百万円で0.5m<sup>3</sup>削減となりました。 中和剤を適宜使用し、排水の際の水質に留意しています。運搬車両にもオイル吸着マットを搭載するようにしました。</p>
⑧	グリーン購入の推進	<p><b>品目数</b></p> <p>【グリーン購入、エコマーク商品の購入】 事務用品、消耗品類は対象品購入の推進、部品の購入は可能な限り適合品を選択するように努めました。</p>
⑨	環境保全意識の向上	<p><b>社員教育</b></p> <p>技能講習と特別教育に関しては、有資格者の不足等、状況を見つつ受講させます。 社外教育は講習会等積極的に参加しました。また、社内教育も年2回開催できました。</p>
⑩	地域環境活動	<p><b>緑化活動</b> <b>ボランティア活動</b></p> <p>職場体験学習や施設見学の受け入れ、高校生への就職指導等も行い、担い手育成活動に参加しました。 地域清掃活動及び除雪ボランティア活動、イベント支援を行いました。</p>
⑪	公害及び苦情ゼロの継続	<p><b>公害・苦情件数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民への配慮、作業説明(文書、挨拶廻り)を行いました。</li> <li>・工事看板設置による情報公開を徹底しています。</li> </ul>

### ■ 次年度の取組み内容

今年度は、スーパーソルの生産受注量と発泡質プラスチック類減容機の稼働率が大幅に増加し、目標未達率が著しく低下した項目がいくつかありました。受注量と処理量の変動が安定して来たので、中期目標活動期間中ですが再度見直しを掛けて取り組んでいきたいと思っております。  
コロナ禍の影響も著しいですが、新たな生活様式を身につけながらも環境経営活動に取り組んでいけるよう、地道に取り組んでいきます。

## 7. 環境関連法規類の遵守

### 1. 関連法規類の周知活動

- ① 廃棄物の適正処理を行うため、法改正に伴う罰則事項・行政処分に対応するために、関係者を説明会に参加させ、また、マニフェスト管理についても同様に関係者を参加させます。
- ② 新入社員に関連法規の研修に参加させます。

### 2. 関連法規類の遵守状況確認

- ① 月に1回ミーティングを開催し、管理者が違反の有無の確認をし、代表者に報告しています。違反があった場合、全社をあげて再発防止について話し合います。
- ② 苦情受付簿を備え付け、地域住民からの苦情等を真摯に受止め改善に努めます。また、地域の行事や環境整備に積極的に参加し、情報提供してもらうと同時に住民との信頼関係を築けるように努めます。
- ③ 関連法規遵守状況チェック表で、適正処理、処理施設の処理能力・有効期限の確認をする。また、処理施設・能力等に変更がある場合、申請許可要件になることを留意する。収集運搬は種類、有効期限の確認をします。
- ④ 上記の結果を踏まえ毎年、法規類の遵守についての推進会議を開催します。

### 3. 関連法規類の遵守状況

- ① 社内推進会議に於いて確認した結果、環境関連法規類の違反はありませんでした。
- ② その他、関連する法律・条令等の違反もありませんでした。
- ③ マニフェスト管理が適正に管理されていることを代表者が確認しました。
- ④ 関連機関及び住民からの苦情・訴訟等はありませんでした。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し

1. 電気使用廃棄物処理機を使用し、処理量や電気使用量の合計と平均値が出たと思います。今後どのように変動するのかを数字で見える化し、電力削減になるのかも考えながら作業効率向上できるよう取り組んで下さい。コロナ禍で体調管理、空調管理が大変な中ですが、逆境をチャンスと捉えて何か新しいことにチャレンジしてみるのもよいでしょう。各部でも意見交換・計画に努めてください。
2. 燃料使用量について、運搬車を運転するスタッフのエコ運転意識向上は前回と同様、適切に取り組んでいると評価できます。営業車に関しては繰り返しですが、顧客への訪問スケジュールを立て、無駄な走行をなくせるように心掛けて下さい。協力会社も増えてきているので、実践している環境活動について理解してもらえるよう指導・助言していきましょう。日常点検は、毎日同じ状態だから大丈夫だろうと過信するのではなく何か車両に変化はないか、異音はなっていないか等を探す大切な時間です。日々確認を積み重ねていけば些細な気づきに繋がり、大きな事故や大きな故障・損傷を事前に察知し、安全と経費削減にも繋がります。安全第一です。
3. 水使用量については、始業前でのスタッフ全員による場内の掃き清掃を実施する事により、粉塵を抑制する事ができ、それにより散水回数も減らすことができたのだと考えられます。排水に関しても、流末部では農業用水としても一部使われておりますので、今後も継続的に節水を意識した活動を行いましょう。
4. 物質投入量では、裏紙利用は確実に行われておりますので継続的に取り組んでください。会議資料は全てチャットワークで共有することとしたが、未だ積算資料等 unnecessary 資料のコピーが見受けられる。スキャナーで対応し、どうしても必要な場合は印刷するようにしてください。
5. 廃棄物の削減では、社員一人一人のリサイクル活動の積み上げが数字として表れてくる項目だと思えます。取り組みは適正であると評価します。継続的な取り組みを実施して行きましょう。  
弊社でも廃ガラス発泡資材製造工場を新設し、『廃棄物』が『資源』へ認識されつつある中、『リサイクル』が当たり前『製造』へと変化してきました。全社的に高いアンテナを張り、現場作業での工夫や新しいアイデアをもっともっと出しあえる環境を整え、具現化して行きましょう。環境活動の一環として意識しなくても行動できるよう努めてください。
6. 環境保全意識の向上については、適正に取り組んでいると評価します。全スタッフの技術、知識の向上を常に意識し、資格取得に関する年間計画を立て、今後も実施するとともに、協力会社へも率先した資格取得を促進して頂くよう取り組んで行きましょう。
7. 地域住民の皆さんからの応援があり、我々は事業活動を行えます。地域資源に興味をもってコミュニケーションを取って行きましょう。次年度は更に担い手育成活動にも尽力していきたいと思えます。
8. 公害・苦情ゼロに関しては、作業中も近隣住民や各種施設を利用される方々の通行・日常生活を妨げぬ様、生活習慣や環境に変化が極力生じないよう努めております。誠実な行動が次の仕事を生むと確信しております。継続的な活動をして行きましょう。

## 9. 事業活動の内容

### 主な業務内容

- |             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| ■ 解体工事      | 一般住宅及びビルディングその他構造物の解体           |
| ■ 産業廃棄物処理業  | 一貫した管理体制で解体から最終処分までの適正処理        |
| ■ 宅地造成・舗装工事 | 一般住宅の宅地造成・舗装から大規模造成・舗装          |
| ■ 再生路盤材製造販売 | コンクリート・アスファルト廃材を40mm以下に破碎し、製造販売 |
| ■ スーパーソル製造  | 廃ガラス発泡資材の製造販売                   |

### 主要設備

- |                            |    |                 |     |
|----------------------------|----|-----------------|-----|
| ■ 重機                       |    | ■ アタッチメント・中間処理機 |     |
| ◆ 0.20m <sup>3</sup> 解体併用機 | 3台 | ◆ 油圧ブレード        | 2基  |
| ◆ 0.28m <sup>3</sup> 解体併用機 | 4台 | ◆ 鉄骨カッター        | 2基  |
| ◆ 0.5m <sup>3</sup> 解体併用機  | 5台 | ◆ 木造解体用グラブ      | 7基  |
| ◆ 0.80m <sup>3</sup> 解体併用機 | 8台 | ◆ コンクリート大割破碎機   | 5基  |
| ◆ 23m級解体専門機                | 1台 | ◆ コンクリート小割破碎機   | 2基  |
|                            |    | ◆ 木材等軟質材切断機     | 2基  |
| ■ 車輜                       |    | ◆ 移動式二軸破碎機      | 1基  |
| ◆ 2tダンプトラック                | 1台 | ◆ 木屑破碎機         | 2基  |
| ◆ 小型脱着コンテナ車                | 2台 | ◆ がれき類破碎機       | 1基  |
| ◆ 4tダンプトラック                | 4台 | ◆ 廃プラ減容機(発泡質)   | 1基  |
| ◆ 中型脱着コンテナ車                | 5台 |                 |     |
| ◆ 2.9t吊り車載式クレーン車           | 2台 | ■ ◆ 乗用車         | 13台 |
| ◆ 10tダンプトラック               | 2台 | うちハイリフト車        | 9台  |
| ◆ 大型脱着コンテナ車                | 2台 | ◆ 軽トラック・軽ボン     | 8台  |
| ◆ 大型トレーラー                  | 1台 |                 |     |
| ◆ 大型チップ輸送車                 | 1台 |                 |     |

## 9. 事業活動の内容

### 許可の内容

許可名	許可番号・有効年月日	種類・処理能力
産業廃棄物処分業 最終処分(安定型埋立)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 衛薬第10-21号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	廃プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 埋立容量=28,375m <sup>3</sup>
産業廃棄物処分業 中間処理(減容施設)	岩手県知事許可 第00342033221号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る) =0.1688t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅰ)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 第103082-14号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	木くず=38.4t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅱ)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 第105082-20号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	がれき類(アスファルト廃材に限る) =480t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅲ)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 第114082-7号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類=40t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅳ)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 第117082-18号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	がれき類=1400t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず =952t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅴ)	岩手県知事許可 第00342033221号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	木くず=4.72t/日、廃プラスチック類=4.85t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず=4.87t/日
産業廃棄物処分業 中間処理(破碎施設Ⅵ)	岩手県知事許可 第00342033221号 設置許可番号 第119082-5号 令和2年4月20日～令和3年10月29日	木くず=176.4t/日 廃プラスチック類=112.24t/日 繊維くず(廃畳に限る)=38.48t/日
産業廃棄物収集運搬業 (岩手県) 積替え・保管を含む	岩手県知事許可 第00312033221号 令和元年9月27日～令和3年10月29日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、銹さい、がれき類、ばいじん 積替え・保管：廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業 (宮城県)	宮城県知事許可 第00400033221号 平成28年7月22日～令和3年7月21日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業 (秋田県)	秋田県知事許可 第00507033221号 平成29年4月12日～令和4年4月11日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、銹さい、がれき類、ばいじん
産業廃棄物収集運搬業 (青森県)	青森県知事許可 第00201033221号 平成30年1月10日～令和5年1月9日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、銹さい、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業 (岩手県)	岩手県知事許可 第00352033221号 平成30年11月13日～令和5年11月12日	感染性産業廃棄物、廃石綿等
一般廃棄物処分業 (北上市)	北上市 第505号 令和元年10月26日～令和3年10月25日	木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
一般廃棄物収集運搬業 (北上市)	北上市 第512号 令和2年7月4日～令和4年7月3日	一般廃棄物
一般廃棄物収集運搬業 (奥州市)	奥州市 第10号 令和2年4月1日～令和4年3月31日	北上市内にて収集した一般廃棄物のうち特定家庭用機器再商品化法第2条第4項に規定する特定家庭用機器の収集運搬に限る。
建設業 (土木、舗装、とび・土工、解体)	岩手県知事許可(特-29)第4184号 平成29年6月8日～平成34年6月7日	

※積替え・保管施設の概要は次頁

## 9. 事業活動の内容

許可の内容(積替え・保管施設の概要)

所在地:岩手県北上市村崎野14地割63番3の一部、63番4、63番7、63番11の一部、63番14及び63番16

産業廃棄物の種類	保管高さ(m)	保管面積(m <sup>2</sup> )	保管体積(m <sup>3</sup> )	保管重量(t)	備考
がれき類 (コンクリート廃材及びアスファルト廃材に限る)	1.50	120.00	153.00	226.44	屋外保管
がれき類	-	48.00	72.00	106.56	屋内保管
廃プラスチック類	-	52.00	54.00	18.90	屋内保管 ※1
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	-	52.00	54.00	54.00	屋内保管 ※1
廃蛍光管 (ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類の混合物(水銀使用製品産業廃棄物を含む))	-	6.70	8.00	2.90	屋内保管 鉄製コンテナ使用
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (廃石膏ボードに限る)	-	36.00	54.00	54.00	屋内保管
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (廃石膏ボードに限る)又はがれき類	-	48.00	72.00	72.00 ※2 106.56 ※3	屋内保管 廃石膏ボードとがれき類の同時保管は行わない
金属くず	-	15.00	6.00	6.78	屋内保管 金属メッシュかご使用
木くず	-	52.00	54.00	29.70	屋内保管 ※1
紙くず	-	36.00	28.00	8.40	屋内保管 ※1
繊維くず	-	36.00	28.00	3.36	屋内保管 ※1
廃油	-	8.00	1.50	1.35	屋内保管 ドラム缶使用

※1 保管容量の範囲内で、鉄製コンテナ、金属メッシュかご及びフレコンバックを組合わせて使用

※2 廃石膏ボードを保管する場合

※3 がれき類を保管する場合

## 10. 処理実績

受託した産業廃棄物の処理量

2019年（R1年8月～R2年7月）

(1) 産業廃棄物

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t	
収集運搬	がれき類	/	12965.25	
	木くず		2427.43	
	ガラス・陶磁器くず		253.12	
	廃プラスチック類		561.13	
	金属くず		55.80	
	紙くず		44.28	
	繊維くず		21.40	
	廃石膏ボード		751.88	
	燃え殻		135.07	
	ばいじん		170.01	
	廃油		1.01	
	廃酸		0.06	
	廃アルカリ		0.30	
	無機性汚泥		58.92	
	有機性汚泥		76.62	
	【特管】廃石綿		0.17	
	【特管】廃油		0.06	
収集運搬量合計			17522.51	
中間処理	がれき類	破砕	24143.03	
	木くず	破砕	4163.95	
	ガラス・陶磁器くず	破砕	115.16	
	廃プラスチック類	破砕・減容	108.59	
	繊維くず	破砕	17.42	
うち再資源化等	がれき類	(破砕・選別後路盤材化)	24143.03	
	木くず	(破砕・選別後ボイラー燃料化)	4163.95	
	ガラス・陶磁器くず	(破砕・スーパーソル原料、再生砂)	160.19	
	廃プラスチック類	(破砕後焼却処理委託・熱利用)	105.36	
	再資源化等量小計		28572.53	
中間処理合計			28548.15	
最終処分	がれき類	(安定型最終処分場)	231.33	
	ガラス・陶磁器くず	( " )破砕	153.26	
	廃プラスチック類	( " )破砕	357.88	
	金属くず	( " )	3.37	
最終処分量合計			745.84	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス・陶磁器くず	破砕後安定型埋立(委託)	12.70
		廃プラスチック類	破砕後安定型埋立(委託)	3.50
	再資源化等	がれき類	販売 再生砕石	22558.56
		木くず	販売 燃料チップ材	3238.14
		ガラス・陶磁器くず	破砕後処理委託(圧縮・原料)	160.19
		廃プラスチック類	破砕後処理委託(焼却熱利用)	105.36
	金属くず(鉄筋)	処理委託(金属原料)	194.98	
再資源化等量小計		26257.23		
中間処理後処分量合計			26273.43	



受託した産業廃棄物の処理量

2019年（R1年8月～R2年7月）

(2) 一般廃棄物

(i) 収集運搬

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ		0.00
	不燃ごみ		
	資源ごみ（		
	資源ごみ（		
	その他：		
	その他：		
合計		t	
家庭系	可燃ごみ	t	158.11
	不燃ごみ	t	3.23
	資源ごみ（		
	資源ごみ（		
	その他：がれき類	t	0.10
	その他：	t	
合計		t	161.44
し尿・汚泥		t	

(ii) 中間処理

廃棄物の種類		処理方法等	単位	処理量・処分量	
中間処理	可燃ごみ		t		
	不燃ごみ		t		
	資源ごみ（ ）				
	資源ごみ（ ）				
	再資源化等	その他：木くず	破碎	t	13.24
		その他：がれき類	破碎	t	0.10
		その他：木くず	販売 燃料チップ材	t	13.24
		その他：がれき類	販売 再生砕石	t	0.10
	小計			t	13.34
	合計			t	13.34
中間処理後の最終処分	その他：				
	その他：				
	合計		t		

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
不燃ごみ			
焼却灰			
その他：			
その他：			
合計		t	

受託した産業廃棄物の処理量

2019年（R1年8月～R2年7月）

(3)再生資源の回収・収集等

再生資源の種類	単位	回収・収集等運搬量
金属		
古紙		
廃棄製品		
その他：廃家電	台	247
その他：		
	台	247

(4) 再生資源の再資源化等

再生資源の種類	処理又は加工等方法	単位	再資源化量	最終処分量
金属				
古紙				
廃棄製品				
その他：				
その他：				
		t	0	0



工事・業務件数及び設計等の件数

2019年（R1年8月～R2年7月）

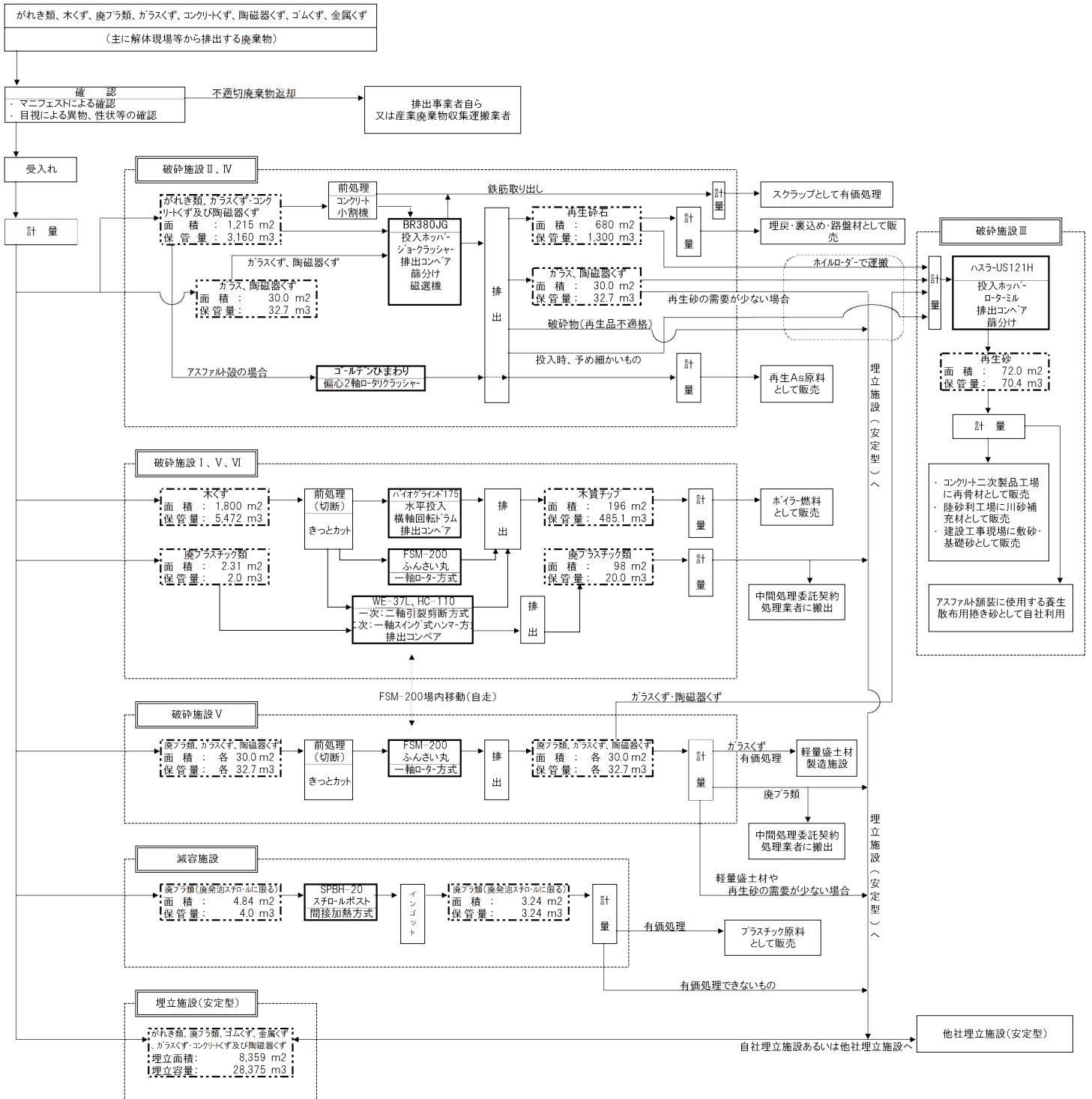
<元請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	工事業務等の内容	発注元
解体工事	103 件	内外装材撤去、重機による解体、基礎解体、整地	公共・民間
	244 百万円		
舗装工事	5 件	掘削、残土処理、オーバーレイ、路盤工、表層工	公共・民間
	28 百万円		
土木工事	1 件	橋梁補修工事、擁壁工、植栽撤去工	公共・民間
	4 百万円		
とび・土工工事	9 件	足場等仮設工事、はつり工事、外構工事、土止め	公共・民間
	18 百万円		
廃棄物処理	205 件	集積工	公共・民間
	28 百万円		
合計	323 件	解体、舗装、土木、とび・土工、廃棄物処理	公共・民間
	322 百万円		

<下請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	工事業務等の内容	発注元
解体工事	127 件	内外装材撤去、重機による解体、基礎解体、整地	公共・民間
	646 百万円		
舗装工事	6 件	掘削、残土処理、オーバーレイ、路盤工、表層工	公共・民間
	5 百万円		
土木工事	0 件	基礎工、水路取替、土止め撤去	公共・民間
	0 百万円		
とび・土工工事	37 件	足場等仮設工事、はつり工事、外構工事、土止め	公共・民間
	30 百万円		
廃棄物処理	0 件	集積工	公共・民間
	0 百万円		
合計	170 件	解体、舗装、土木、とび・土工、廃棄物処理	公共・民間
	681 百万円		

**処理工程図(固定式)**  
株式会社スパット北上(北上市稲瀬町上台地内)



## 11. その他

### 地域貢献活動

#### ■ 除雪ボランティア

北上市内の保育所や、一人暮らし世帯、身体障害者世帯の除雪活動  
地域イベント開催に伴う駐車場除雪活動

#### ■ その他活動

みちのく芸能まつりイベントブース出店及び清掃活動  
テクノメッセブース出店  
近隣保育園の各種イベント支援  
建設業ふれあい事業イベントブース出店  
鬼っジョブ～北上おしごとパーク～出店  
グランドゴルフ大会開催  
和賀川河川敷清掃活動  
職場体験実習受け入れ・講師派遣・就職模擬面接指導等の担い手育成活動  
道路・河川敷・展勝地等の清掃活動  
献血協力活動  
北上市内の植樹樹内の除草作業 etc.

#### ■ 募 金 活 動

社団法人岩手県緑化推進委員会「緑の募金」  
赤い羽根共同募金  
日本赤十字社募金  
社団法人日本ユネスコ協会連盟

### 教育・訓練の実施状況

#### ■ 教育

令和元年8月 除雪講習会  
令和元年8月 玉掛技能講習  
令和元年9月 フォークリフト運転技能講習  
令和元年10月 高所作業車運転技能講習  
令和元年10月 ガス溶接技能講習  
令和元年10月 フォークリフト運転技能講習  
令和元年10月 小型車両系建設機械運転特別教育  
令和元年10月 安全大会  
令和元年11月 フォークリフト運転技能講習  
令和元年11月 石綿使用建築物等解体業務特別教育  
令和元年12月 車両系建設機械(解体用)運転技能講習  
令和元年12月 足場の組立等の業務に関する特別教育  
令和元年12月 石綿使用建築物等解体業務特別教育  
令和2年4月 安全大会  
令和2年5月 刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育

### 問題点の是正処置・予防処置

#### ■ 手順書の改訂

環境関連法規類を確認するための手順変更により改訂。

### 緊急事態の想定・訓練・是正の実施状況

#### ■ 緊急事態の想定・訓練・是正

コンクリート破砕施設からの粉じん発生を想定  
令和元年11月実施  
給油中の燃料流出を想定  
令和2年5月実施  
木材チップ置場からの出火を想定  
令和元年12月実施